

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【事業所自己評価】

◆事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月8日（金）～21日（火）4日間
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	木内・蛭子・友松・松本実・井上・岸田・岡田 本郷・相澤・富川・仲田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	7人	1人	人	10人

前回の改善計画	R5年度の改善計画を基本継続として、ご利用者とご家族間とのかかわり方（支援の在り方）について、送迎や訪問時などで情報収集に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始当初は特に関わりを密にし、ミーティング等で情報を共有している。但し、情報収集は、事業所での様子が大半を占め、自宅での様子や地域とのかかわりは限定的（利用者による）である。送迎や訪問時、ご家族へ事業所での様子を積極的に伝えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	9			11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	8	1	1	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	6	1		11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	5	2	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・情報提供表を利用開始前に確認し、開始後はケース記録やミーティング等で情報を共有している。 ・サービス利用時は、毎日のミーティングで支援内容を確認し、できているか否かの評価をしている。できていない場合は検討を行っている。 ・送迎や訪問に携わらない職員も、対応した職員より送迎時、訪問時の様子を聞き共有している。 ・本人の課題、家族の心配を明確にして支援内容を検討している（本人、ご家族の思いや話を聞き、上長やケアマネジャーに伝え、ミーティングで共有している）。 ・自己紹介をする、送迎や入浴の場面を活用し話をしている。ご家族と会った際はご家族の気持ちを傾聴し、労いの言葉をかけたり、速やかにチームで情報を共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・送迎に出ない職員は、直接ご家族に会う機会が限定され、関係づくりが難しい。 ・サービス開始当初は、どのような声かけや支援が合っているのか、不安にさせてしまうのではないかと考え、行動に移せない、ためらってしまうことがある。職員側が緊張して（失礼な対応がないように）、返って話しかけにくい、はっきりとしない声かけになっていたと思う。 ・ご家族と話す機会が少ないため、いざ話す場面に遭遇した際、一言二言で終わってしまう。 ・本人の思いとご家族の思いが違うことがあるが、これまでの歴史があり深く立ち入ることが難しい。 ・拒否がある場合、他に説得できる要素がない限り強く言えず、声掛けができないことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
初対面か否かにかかわらず、人と相対する時のコミュニケーションは同じ。人（利用者、家族）と人（職員）として礼儀を大切にし、信頼が得られる声かけや対応を行う。具体的には、接遇、相手の話は時間をかけて聞く、ごまかしや嘘は言わない。情報は職員で共有する。プライバシーを守る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月8日（金）～21日（火）4日間
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	木内・蛭子・友松・松本実・井上・岸田・岡田 本郷・相澤・富川・仲田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	5人	2人	人	10人

前回の改善計画	
本人の「～したい」を把握し支援できるよう、話し合いや相談時間を設けて目標を明確にして達成を目指す。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
本人の好きなこと、特技を活かせるよう行事や日々のレクリエーションに取り入れた。ドライブや外出企画も春～秋は実施できた。意欲的でない男性利用者への働きかけには課題が残る。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	5	3	2	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	6	4		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	6	3		11
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	4	6	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の目標は、担当職員中心に聞き取りを行い、「～したい」を支援内容に取り入れ、日々実践している。毎日、ミーティングで振り返り結果を確認・共有している。 ・本人の「～したい」は理解できている。日々できるだけ満足していただけるよう、美味しい食事の提供を心掛けている。「おいしかった」と言っていたくと嬉しい。 ・本人の思いや訴えを丁寧に聞き、毎日のミーティングで報告できている。 ・したいことができるように日々工夫し、本人が難しいことでも“できるところまでは”と、他の職員と協力しながら働きかけをしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・毎日のミーティングで評価まで至っていない。今後は計画的に行いたい。担当職員が把握できるくらい関わりを持てるよう発信し、QOLの向上にチームで取り組めるような発言（発信）が不可欠と思う。 ・「～したい」の実現には、日々の関わりの中だけでは限界もある（一人ひとりのゴールは多種多様）。 ・習慣化してしまい、支援内容が惰性になっていないか不安になる時がある（自身の介護術や考え方に自信がない）。 ・多くのご利用者に提供している日課に、興味のない方やできずに諦めてしまう方もいる。日課だからと職員の都合で提供していたこともあり、本人のしたいことを聞き出すコミュニケーションがとれずにいた。 ・意欲的でない（趣味や興味がない）ご利用者への働きかけに限界を感じている（特に男性のご利用者）。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
ケアプランを確認する。ご利用者に提供するばかりではなく、職員が横について一緒にする、一緒に考える、話を聞くなかで、本人の意欲や「～したい」を知る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月8日（金）～21日（火）4日間
3. 日常生活の支援	メンバー	木内・蛭子・友松・松本実・井上・岸田・岡田 本郷・相澤・富川・仲田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	8人	2人	人	10人

前回の改善計画	引き続き R5 年の改善計画を継続し、施設利用以前の生活について把握できるよう、本人やご家族との情報共有の場を設ける ⇒ 《R5 年改善計画》以前の暮らしを把握し、その人らしく生活できる様、支援する
前回の改善計画に対する取組み結果	以前の生活については、情報提供シートにある情報に限られることが多く、本人やご家族に聞ける範囲に留まっている。日々のなかでは時間を割いてご利用者や家族と話す機会は限られる。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？			9	2	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	7	1		11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		7	4		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	6	1		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	5	2		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・基礎的な介護は本人の状況に合わせて、都度共有しチームで実践できている。 ・本人の気持ちに寄り添い傾聴し、体調の変化に気づいた時点で支援を見直している。 ・本人への声かけには気配りをしている。安心、安全に生活していただく、そして笑顔で暮らしていただけるよう関わっている。 ・体調の変化（排便状況、日々と違う言動、動作の違い等）で気になることがあれば、発言できている。 ・適切な支援ができるよう不安な時は他の職員に聞く、申し送りを確認するよう心掛けている。 ・裁縫や編み物、ぬり絵、読書、計算等の脳トレ、畑仕事等、本人の得意ことを支援している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「以前の暮らし方」10 個以上把握できていない（アセスメントの中で吸い上げ方が不十分である。日々のコミュニケーションの中で聞き出そうとする意識がなかった。情報が多すぎて把握できない）。 ・ミーティングの中では、本人の声を言語化できるまでの時間を割くことができない。 ・本人の心身面の低下や家族の受け入れの有無により、「いま、安全に暮らしていただく」だけで精一杯になっている。 ・日々の業務に追われ深く考えずに流してしまうことも多く、本人の声にならない声を理解できているか（気づけているか）自信がない。業務を優先せざるを得ないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
「変化」に気づくためには、日々のかかわりや記録が大切。ケア記録や申し送りノート、各種報告書など記録の書き方を勉強する（部署内にて勉強会を実施する）。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月8日（金）～21日（火）4日間
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	木内・蛭子・友松・松本実・井上・岸田・岡田 本郷・相澤・富川・仲田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	4人	2人	9人

前回の改善計画	地域との暮らしの支援について、事業所がどう関われるかを本人、ご家族と話す機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域で暮らし続けられるよう、特に日中独居となるご利用者、老々介護にあるご利用者について、日々ご家族と情報共有しながら対応している。但し、対応が後手になることもあり、迅速かつ臨機応変な対応にはご家族の協力も必要と感じている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		5	3	3	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	5	3	2	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		1	7	3	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1	6	4	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 生活スタイル、人間関係はアセスメントの段階で概ね確認できている。 - 送迎等でご家族と関わる時は、必要な情報や事業所での様子を少しでも話すようにした。 - 本人とご家族の思いや話は、誠意をもって聞くよう努めている。 - 本人と事業所だけの関わりにならないよう、できる限り介護者、地域への働きかけを心掛けている。 - 運営推進会議等で地域の老人会、民生委員、市の職員、家族と情報や課題の共有をしている。また、地域の老人会の皆様との交流が再開している。 - ご家族にも事業所以外の支援者が必要。行政や地域の方につなぐ役割も担っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 管理者やケアマネジャーが中心（窓口）となり取り組むことも多く、個人的にはご家族や地域の方と話ができる機会があれば積極的に声をかけるくらいの関わりとなっている。 - 自宅での生活や人間関係等、サービス利用中に短い時間で話すに留まり、理解まで至っていない。 - 訪問するご利用者は、自宅での生活についてある程度把握できているが、通いのみのご利用者は本人や家族への情報収集ができておらず、一部しか把握できていない。 - 本人の生活が事業所主体とならないよう、本人を真ん中にして家族や地域、これまで培ってきた関係性を大切に支援を考えているが、体調や環境への配慮を優先せざるを得ない場合には事業所が率先して動かざるを得ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の資源（フォーマル、インフォーマル含め）を知るために、部署内で勉強会を開催する。事業所がある地域の活動へ参画する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月8日（金）～21日（火）4日間
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	木内・蛭子・友松・松本実・井上・岸田・岡田 本郷・相澤・富川・仲田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	6人	人	人	10人

前回の改善計画	「通い」「泊り」「訪問」のニーズに対しては引き続き柔軟に対応していく。今後も感染予防対策を講じながら、外部との関わりや地域資源の活用に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所サービスは、本人やご家族の状況に合わせて柔軟に迅速に対応できている。必要に応じて、地域資源や民生委員の助力を得ている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	5	2		11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	8			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	5	6			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	7			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 配食サービス、移送サービス、民生委員の訪問、SOS ネットワーク登録、散髪支援等、地域資源の活用を行っている。 - ミーティング等で本人の変化を共有し、ニーズに合わせ支援できるようチームで取り組んでいる。自身が気づいた変化等は発言できている。 - 管理者やケアマネジャーが中心となり、本人の状態、本人や家族の希望、緊急度等により柔軟に対応できている。また、職員も協力できている。 - 宿泊利用者の日々の変化や体調に合わせた支援は、日勤者から日勤帯の様子を申し送ることにより、夜勤者が迅速かつ柔軟に対応できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 感染症罹患や同居家族の感染症罹患によって、通いや宿泊利用の自粛をお願いする場合もある。ご家族にとって負担も大きい。他利用者、職員の安全を守る必要もある。 - 地域資源についての理解が不十分であり、理解できていないままになっている（経験の浅い職員に多い）。 - 特養やグループホーム入所待ちで長期間に渡って宿泊利用されている方が一定数おり、他利用者の宿泊希望に添えないことがある（他利用者と譲り合い、極力希望に添えるよう対応している）。 - 夜間帯は職員が一人で対応しており、本人の意思に反するケアをしているかも知れない（よく寝ているなか排泄介助をする、大声を恐れて声をかけない、対応を後回しにする等）。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
小規模多機能型居宅介護施設の概要を学習する（パンフレットの内容や契約書、重要事項説明書に記載されている内容、事業所として遵守すべきルールなど）。部署内の勉強会で実施する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月8日（金）～21日（火）4日間
6. 連携・協働	メンバー	木内・蛭子・友松・松本実・井上・岸田・岡田 本郷・相澤・富川・仲田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	3人	2人	1人	10人

前回の改善計画	これまでと同様に感染予防対策を講じながら、外部との連携・協働に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は地域の感染状況を確認しながら、マスク着用を任意する、地域に出向く、地域の方を事業所に招く等、柔軟な対応を行った。基本的な感染対策は継続しており、メリハリのある対応ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	3		5	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2		7	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2	2	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	5	1	4	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・サービス機関との会議は、退院前、新規契約、更新時期に行えるよう働きかけている。 ・本人の状態に応じて、医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所と連携し、適宜必要な対応ができています。 ・地域の中学生による福祉体験学習、福祉養成講座受講生の実習受入れを行った。 ・送迎や訪問時に、ご近所など地域の方を見かけたら挨拶をしている。 ・地域の各種機関・団体との会議は、管理者またはケアマネジャーが出席している。 ・運営推進会議で、地域の行事や困りごとを確認している。相談窓口の機能を伝えている。 ・互助会による地域イベントへの参加は、互助会幹事を中心に積極的に参加している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・各種会議、活動、イベントへの参加は消極的（今年度は感染症流行時期にも外部との活動や会議は定期的に実施した。消極的な要因として、人員不足が大きい）。 ・その他サービス機関、地域の各種機関、団体との会議参加は、主に管理者やケアマネジャーが担っており、他の職員へは議事録で共有するに留まっている。 ・特に外部との会議やイベントは、主催者や目的、他の参加者、議題等、把握することが難しい。また、事業所が参加しているかどうか把握できていないこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 地域で定期的で開催している「ふれあい朝市」を事業所で開催し、地域住民との交流を図る。 ② 地域も子ども達（保育所、小学校、中学校等）との交流を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月8日（金）～21日（火）4日間
7. 運営	メンバー	木内・蛭子・友松・松本実・井上・岸田・岡田 本郷・相澤・富川・仲田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	2人	4人	1人	8人

前回の改善計画	施設内での運営だけでなく、外部との関わりをもって施設運営に反映させるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は敬老会への参加や地域の老人クラブの方との協働、家族会の開催など、コロナ禍以前の活動を少しずつ取り戻すことができた。改めて事業所の取り組みを知っていただく（見ていただく）機会とした。限定的ではあるが、第3者の意見や評価を自分たちの活動へ活かしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	6	3	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	4	4		10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	3	5		9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1	1	7		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・管理者、ケアマネジャーは毎月の事業検討会で事業所の活動、あり方について意見交換している。 ・意見や苦情は真摯に受け止めて、運営に反映している（毎日のミーティングで苦情や要望について確認） ・送迎や訪問時、自宅での様子を聞きながら家族の思いを受け止めて対応している。 ・地域と協働した取り組みは、コロナ禍で自粛が続いていた時期に比べ、復活してきている（今年度は家族会、餅つきを実施）。 ・一職員として、本人、ご家族からの意見や要望は管理者やケアマネジャーに伝えている。 ・運営推進会議で、利用状況や事業所の取り組み、事故報告を行い、出席者から意見を聞いている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域交流は、できるところから再開しているが、多くの方と交流がもてるまでには至っていない。運営推進会議を活用し、事業所の情報を共有、地域の困りごと等を聞く場としている。 ・昨年より感染症対策は緩和されたが、積極的に地域に出かける機会は持てなかった（人員不足）。 ・シフトで勤務をしている関係上、地域の方を招く行事に全職員が参加できない。地域の方やご家族と話す機会を順次持てるような配慮も必要と考える。 ・異動して1年未満のため、言われた通りに業務を覚えることで精一杯。事業所の在り方について等の意見は言えていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
運営推進会議には、管理者及びケアマネジャーが出席しているが、今後は定期的に他の介護職も持ち回りで参加し、地域の方々と事業所の運営や地域の課題について話を聞く、意見を言う機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月8日（金）～21日（火）4日間
8. 質を向上するための取組み	メンバー	木内・蛭子・友松・松本実・井上・岸田・岡田 本郷・相澤・富川・仲田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	4人	2人	9人

前回の改善計画	
職場のインターネット環境を整備し、外部とのリモート研修にも参加できるようにする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
事業所への Wi-Fi 環境は 12 月中旬に整備され、職員が共有で利用できるスマートフォンを購入した。リモート環境は整備できたが、画面は小さくリモート研修に耐えうるかは疑問が残る（感染症蔓延時など、緊急時の一時的なリモート利用としての活用は可能）。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	4	3	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	2	4	11
③	地域連絡会に参加していますか			2	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	1	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 毎月の部署会議において勉強会を実施している（毎回 9 割以上の職員が参加）。 ・ 可能な限り、様々な研修に積極的に参加をし、スキルアップ向上に努めた。 ・ オンラインにより自宅から研修に参加した。 ・ 新人職員は、法人本部の研修に参加後、事業所へ配属される。一年間は OJT を実施している。 ・ 講師やファシリテーターとして京都府やジョブパーク主催の研修に参加している。 ・ 日々のケアの中で、リスクを予測しながら（意識しながら）声かけや介助をしている。 ・ 事故、ヒヤリハット発生時は、原因を分析、改善策を検討した上で、チームで共有・検討策を実施した。 ・ リスクの共有と未然に事故を防止できるようミーティングで共有し、転倒防止を目的とした筋力アップ体操等を日々実践している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 階層別研修の中でも、新人、中堅職員の育成を優先する傾向にあり、ベテラン職員の研修参加の機会が減っている。 ・ 法人主催の研修は、シフトの都合上全員参加ができない（自主学習できるツールがあると良い）。 ・ 人員の余裕がなく、業務の中で十分な時間を取り OJT を進めることが難しい。 ・ 自己啓発をする職員が少ない（日々の業務をこなすことで時間的な余裕がないこと、外部研修に参加する機会が少ないことも一つの要因）。 ・ 地域連絡会への参加は現在のところ、ない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
職員の経験や今後のキャリア希望を鑑みて、計画的に勉強会や法人内/外の研修に参加する。また、職員自身も自己啓発目標を立て、自身の成長につなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年1月8日（金）～21日（火）4日間
9. 人権・プライバシー	メンバー	木内・蛭子・友松・松本実・井上・岸田・岡田 本郷・相澤・富川・仲田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	8人	人	人	8人

前回の改善計画	他者の尊厳を侵す言動をするご利用者がおられ、他者の人権やプライバシー保護が困難、そのご利用者も施設職員として守らなければならない。どのような支援（対策）を行うかを皆で検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待防止・身体拘束適正化委員会を中心に毎月の部署会議で本人への理解を深めると共に、対応方法を協議、次月の取り組みを検討⇒実施⇒評価を繰り返している。本人をのけ者にしないことと他利用者への配慮を並行することに困難さはあるが、取り組みを継続している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	3	8			11
②	虐待は行われていない	7	4			11
③	プライバシーが守られている	1	8	2		11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1		6	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	7			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・言動を抑制する声かけは行わず、距離をとる、他へ意識を向ける等、かわり方を工夫している。 ・認知症や精神面で混乱のあるご利用者の対応は時として困難を極めるが、職員間で協力、励まし合って支援をしている。 ・部署会議や法人による勉強会で自身の関わり方を振り返り、少しでも怪しいと思ったことは翌日から改善できるよう心掛けた。 ・特に排泄、入浴介助においてプライバシーへの配慮をしている。同性介助を要する方へ配慮している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・施設は共同生活の場でもあり、必ずしも個室の確保ができないことがある。また、介護度が高い傾向にあり、認知症のあるご利用者も多くプライバシー侵害が起こる場面もある（勝手に寝室に入る、大声に不快感を示す等）。 ・認知症のある方の周辺症状に対して、誤魔化す対応でその場を収めてしまっている。 ・自分が日々の仕事に追われており、自身の都合にご利用者をあわせてしまうことがある。 ・現在、成年後見制度を活用しているご利用者はいないが、制度自体を詳しく知らない。 ・身体拘束や虐待、プライバシー保護について、自分ではしていない、守られていると思っているが、無意識でできていることが実は、、、、ということもあるのではないか。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
認知症の症状がある利用者へのケアや声かけ、声にならない声を代弁する等の学びを深める（認知症基本法やオレンジプラン、パーソン・センタード・ケアについて学習する）。	